


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 三共コンサルタント株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
																													
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念及び経営目標を明文化しており、社内の目に付く位置に張り出している。 ・経営者は、年始において、全社員に対し、会社のあり方について説明している。									8	9													17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・職員就業規則に規程し、周知している。																							16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・職員就業規則に規程し、周知している。																	10							16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・管理責任者(統括技術部長)と管理担当者(各課長)による品質管理体制を構築し、成果品の照査を実施している。																							16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・職員就業規則に規程し、周知している。										8.2 8.3	9													
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・職員就業規則に規程し、周知している。																							16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・業務完了後、ステークホルダーである発注者に対し、アンケートへの協力を依頼し、苦言・苦情を受け止め、今後の業務遂行の際における改善点として社内でも共有している。																					16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10			12	13	14	15	16	17					
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・熊本地震を機にBCPを策定し、年に2回の避難訓練を実施している。										9		11			13.1					16	17			
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9												17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●																										17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・職員就業規則に規程し、相談窓口を設置している。					4.3 4.4 4.5					8.5 8.7 8.8			10.2 10.3								16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・現場作業に際しては、労働安全衛生規則を参考に作成した安全管理チェックシートにて事故等の防止に取り組んでいる。										8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・職員就業規則に規程し、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。						5.5				8.5				10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・定期的な工程会議を行い、特定の社員に対して、業務の集中が起こらないよう、また、業務の進捗管理を行っている。										3				8.5 8.8			10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・業務に必要な研修等への積極的な参加を推奨し、知識や技術職の底上げを図っている。 ・資格試験の受験を推奨し、受験費用を会社で負担している。						4	5.5			8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・従業員は、入社の際及び毎年1回以上の健康診断を行うものとし、掛かる費用は会社で負担している。											3				8							17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・採用又は昇進・昇格に際し、性別並びに障がいの有無や国籍の違い等の差別的待遇はない。 ・職員就業規則に規程し、周知している。									4.4	5.1 5.5			8.5			10.2 10.3					16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・出勤者7割削減を目標とした、時差出勤やテレワークを導入し、平時よりそれらの取組を継続して行っている。 ・発注者との打合せは、リモート会議を積極的に実施した。										3				8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・レーザードローンやGNSSを測量現場で活用し、必要人員の削減と、業務効率の向上を図っている。														8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・現在、県のプライト企業に申請中である。																	3	4				8	9	

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・産業廃棄物と再資源化が可能なゴミと分別し、廃棄物リサイクル業者にて適正に処理している。			3.9								11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・自社におけるエネルギー使用量を簡易計算シートにより算出・記録し、自社のエネルギー使用量削減のため、社用車9台中1台あるガソリン車をハイブリッド車に換える予定である。(2022年に実行予定) ・令和元年度に社内における照明器具の全てをLED化し、消費電力の省力化を図っている。														13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・自社における温室効果ガスの排出量を簡易計算シートにより算出・記録し、自社で使用する冷暖房器具の利用率の低減を図り、温室効果ガスの排出量抑制のため、クールビズやウォームビズを全社員で励行している。			2.4											12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・河川災害の計画においては「美しい山河を守る災害復旧方針」に基づき、景観の調和と、寄せ石などによる生物の生息場の確保など、河川環境の保全に配慮した復旧計画を提案している。																14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・事務用紙並びにトイレトペーパーは再生用紙を使用している。 ・チェック用の印刷には裏紙を積極的に使用している。							9.4							12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・事務所内の使用水量縮小を図るため、節水コマ設置している。			2.4									11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・事務用紙並びにトイレトペーパーは再生用紙を使用している。							9.4							12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2														14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7				13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・事務所内で使用する照明器具の全てをLEDにすることで使用電力の省力化を図っており、昼休み時間は可能な範囲で消灯している。 ・事務所内の空調を次回更新時に省エネ家電の購入を検討している。											9.4		11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●															11.3 11.4 11.5	12.2	13			15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●															11.3 11.4 11.5	12.2	13			15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●	・プラスチックの使用削減のため、社内管理用のファイルや事務所で使用するストローは紙製を使っている。															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●	・会社に自宅が2km未満と近い社員に対しては、自転車通勤を推奨している。											9.4		11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●															7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13		17.17

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	・業務完了後、ステークホルダーである発注者に対し、アンケートへの協力を依頼し、苦言・苦情を受け止め、今後の業務遂行の際における改善点として社内で共有している。 ・熊本県照査要領をもとに、社内において品質管理責任者による照査を行っている。	3.9									9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	・業務において、歩道の構造決定には「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」に基づき、ユニバーサルデザインを考慮して計画・提案している。										9.1	10	11.7								17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●			2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15				17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1			15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●										8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・地域で例年実施している船場川クリーン作戦に毎年参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	・避難訓練と併せ、事務所内設置したAEDの使用訓練も定期的に行っている。				4								11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●	・AED設置を地域住民に広告し、また、救命率向上のため、全国AEDマップに公開している。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1			16	17		
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●	・毎年高校生のインターンシップを、積極的に受け入れている。				4				8.6		10.2									17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●					4.4				8.5 8.6											17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2			4.3 4.4 4.5			8.6		10.2		12	13	14	15				17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。